

気候情報

2010年9月の日本の天候

- 全国的に気温はかなり高く、東・西日本で厳しい残暑
- 東・西日本太平洋側で多照、西日本太平洋側で少雨
- 東日本日本海側では多雨

9月の天気概況

上旬から中旬にかけては、太平洋高気圧の勢力が日本の南で強く、秋雨前線は日本海から北日本で活動が活発化することがあった。下旬は太平洋高気圧が弱まり秋雨前線が本州の南岸に南下した。

西日本と東日本太平洋側では上旬から中旬にかけては晴れの日が多く、猛暑日となるなど残暑が厳しかったが、下旬は天気が周期的に変わり、気温が急激に低下した。

北日本から東日本日本海側にかけての天気は数日の周期で変わり、日本海側を中心に大雨となった所があり、東日本日本海側では、台風第9号の影響もあって降水量がかなり多くなった。気温は中旬まではかなり高かったが、下旬は下がり北日本では低くなった。

一方、沖縄・奄美では中旬までは台風や熱帯低気圧の影響で天気は数日の周期で変わったが、下旬は太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多く、気温は中旬を中心にかなり高かった。

上旬：北日本では旬の初めと旬末は高気圧に覆われて晴れたが、3日は台風第7号から変わった熱帯低気圧の影響で、また6日から8日は秋雨前線の影響で局地的に大雨となった。東・西日本では太平洋高気圧に覆われ晴れて暑い日が多く猛暑日となった所があったが、8日に福井県に上陸した台風第9号の影響で所々で大雨となった。沖縄・奄美では4日に台風第9号が沖縄本島付近を通過し、旬の後半にも熱帯低気圧が沖縄の南を西進したため曇りや雨の日が多かった。

中旬：秋雨前線の影響で、北日本の天気は数日の周期で変わり、所々で雷を伴って大雨となった。東・西日本では日本海側を中心に大雨となった日があったほか、高気圧に覆われて晴れて気温が高く猛暑日となった所もあった。沖縄・奄美では太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、旬末は台風第11号の影響で先島諸島では暴風雨となった。

下旬：旬の初めは西日本を中心に高気圧に覆われて晴れたが、北日本では寒冷前線が通過し日本海側を中心に曇りや雨となった。秋雨前線が22～23日頃に本州付近を南下したため東北地方から西日本にかけて所々で雷を伴って大雨となり、気温は急激に低下し、25日頃にかけては北・東日本を中心に気温は平年を大幅に下回った。また、25日頃には台風第12号が日本の東海

上を北上したため、北・東日本では曇りや雨となった。旬の後半は低気圧や前線が日本海と本州の南岸を通過したため、北日本から西日本では曇りや雨の日が多かった。沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

9月の気候統計

月平均気温：全国的にかなり高かった。

月降水量：東日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側で多かった。一方、西日本太平洋側ではかなり少なく、北日本太平洋側、西日本日本海側および沖縄・奄美では少なかった。東日本太平洋側では平年並だった。

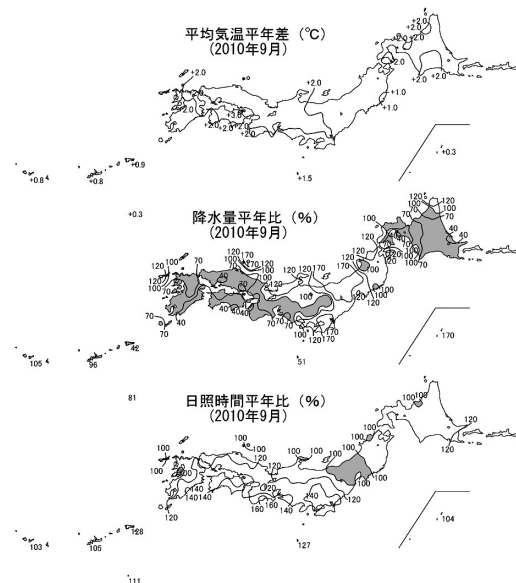
月間日照時間：東日本から西日本にかけての太平洋側でかなり多く、北日本太平洋側、西日本日本海側および沖縄・奄美で多かった。北日本から東日本にかけての日本海側では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

9月の記録(1位更新のみ)

- ・月平均気温高い方から(°C)
札幌 20.0 帯広 18.4 岐阜 25.9
- ・月降水量多い方から(mm)
相川 344.0
- ・月間日照時間多い方から(時間)
三宅島 206.1 伊良湖 229.5 尾鷲 204.8
姫路 190.7 清水 248.3 室戸岬 245.5
沖永良部 257.5

2010年9月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。